

対象者: 「将来、海外と関わる仕事をしたい」と考えている学生の方

国際センターではグローバルな視野で将来の進路を考えるための講演会やシンポジウムを企画します。
平成26年度第3回では、矢野創先生(JAXA 宇宙科学研究所)をお迎えし、
これまでのご経験や太陽系探査のご研究、未来の探査構想についてお話しいただきます。

日時: 2014年 **10月15日(水)**

16:30~17:50

場所: **南大沢キャンパス
国際交流会館 大会議室**

(予約不要)

深宇宙探査と 世界潮流

～人類はあと何年、宇宙に出られるか～

1957年のスプートニク衛星から始まった人類の宇宙進出。

宇宙科学は今や地球外生命の発見や宇宙誕生の初期条件の解明に挑みつつある。

大学が小型衛星を作り、民間企業が宇宙観光業や宇宙探査に参入する現代。

同時に地球人口は急速に膨張し、国際社会では資源や環境を巡る新たな緊張が噴出している。

人類は深宇宙への挑戦を、未来も継続できるのか？

それとも私たちは人類史上最初で最後の宇宙に進出した世代となってしまうのか？

現在の宇宙探査の国際情勢と日本の実績を俯瞰しつつ、

未来設計図を皆さんと考えてみたい。



矢野 創氏 プロフィール

JAXA宇宙科学研究所・学際科学研究系・助教。

慶應義塾大学院システムデザインマネジメント研究科・特別招聘准教授。

専門は太陽系探査科学、アストロバイオロジー。東京都生まれ。

英国ケント大学院宇宙科学科でPh.D.を取得後、旧文部省宇宙科学研究所、

米国防空宇宙局ジョンソン宇宙センターを経て、現職。

LDEF, EuReCa, SFU, スターダスト、はやぶさ、イカロス、はやぶさ2、たんぽぽなど、
日欧米で10件以上の深宇宙探査や宇宙実験に従事してきた。

国際宇宙航行アカデミー(IAA)通信会員。

学術誌 Advances in Space Research 編集委員。PMI認定PMP。